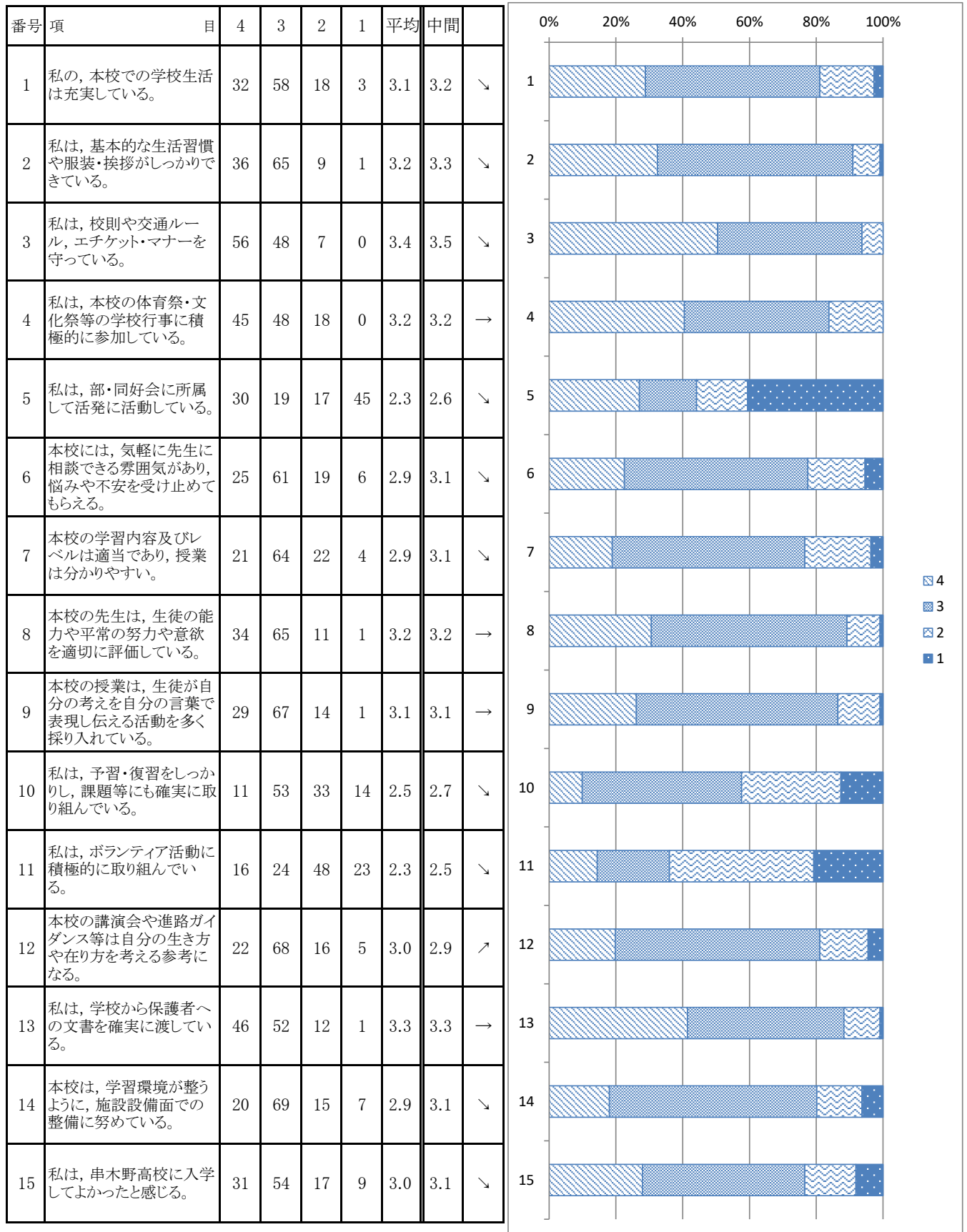


令和2年度学校評価(生徒 最終)

4 よくあてはまる 3 ややあてはまる 2 ややあてはまらない 1 全くあてはまらない



令和２年度 学校評価（最終）生徒アンケートの分析

全校生徒 112 人中 111 人回答，回収率は 99.1%

☆ 良かった点

- ・ 6 番「本校には，気軽に先生に相談できる雰囲気があり，悩みや不安を受け止めてもらえる。」は中間報告より 0.2 ポイント下がったが，一昨年 2.6，昨年 2.7，今年 2.9 と大きく上がっている。
- ・ 8 番「本校の先生は，生徒の能力や平常の努力や意欲を適切に評価している。」は，一昨年 2.8，昨年 2.9，今年 3.2 と年々大きく上がっている。
- ・ 9 番「本校の授業は，生徒が自分の考えを自分の言葉で表現し伝える活動を多く取り入れている。」は，一昨年 2.7，昨年 2.9，今年 3.1 と年々上がっている。
- ※ 8 番，9 番からは，学校全体で授業改善に取り組み，相互授業参観，研究授業や職員研修の実施による職員の意識改革が進んでいることがうかがえる。
- ・ 15 番「私は，串木野高校に入学してよかったと感じる。」は，一昨年 2.5，昨年 2.9，今年 3.0 と年々上がっている。学校生活に満足している生徒が確実に増えている。

★ 改善を要する点

- ・ 5 番「私は，部・同好会に所属して活発に活動している。」が中間報告より 0.3 下がり 2.3。一昨年 2.5，昨年 2.6，今年 2.3 と大きく下がった。生徒数の減少傾向が部活動の衰退を招いていると思われる。
- ・ 10 番「私は，予習・復習をしっかりとし，課題等にも確実に取り組んでいる。」が中間報告より 0.2 下がり 2.5。一昨年 2.5，昨年 2.5，今年 2.5 と低い状態が続いている。
- ・ 11 番「私はボランティア活動に積極的に取り組んでいる」が中間報告より 0.2 下がり 2.3。一昨年 2.4，昨年 2.4，今年 2.3 と低い状態が続いている。コロナにより，意欲がありボランティア活動に参加したくてもできないこともうかがえる。

※まとめ

今年度の最終評価は，10 項目で中間報告を下回り，上回った項目は 1 つしかなく，全体的に生徒の評価が下がった。中間評価ではコロナによる一斉休校により授業や定期考査，部活動，学校行事などが次々と中止になり，評価のための判断材料が少なく過大な評価につながったように思われる。

しかし，過去の最終評価よりも毎年生徒の評価が高くなっていることは串木野高校の雰囲気が年々よくなってきており，生徒の学校生活への満足度が上がってきていることを表している。

コロナにより学校行事等が縮小しているが，授業を中心とした学習活動はもちろん，放課後等の部活動やボランティア活動のどれでもよいので，生徒一人一人が何かしら意欲をもって取り組める方策に知恵を絞らなければならないと思う。

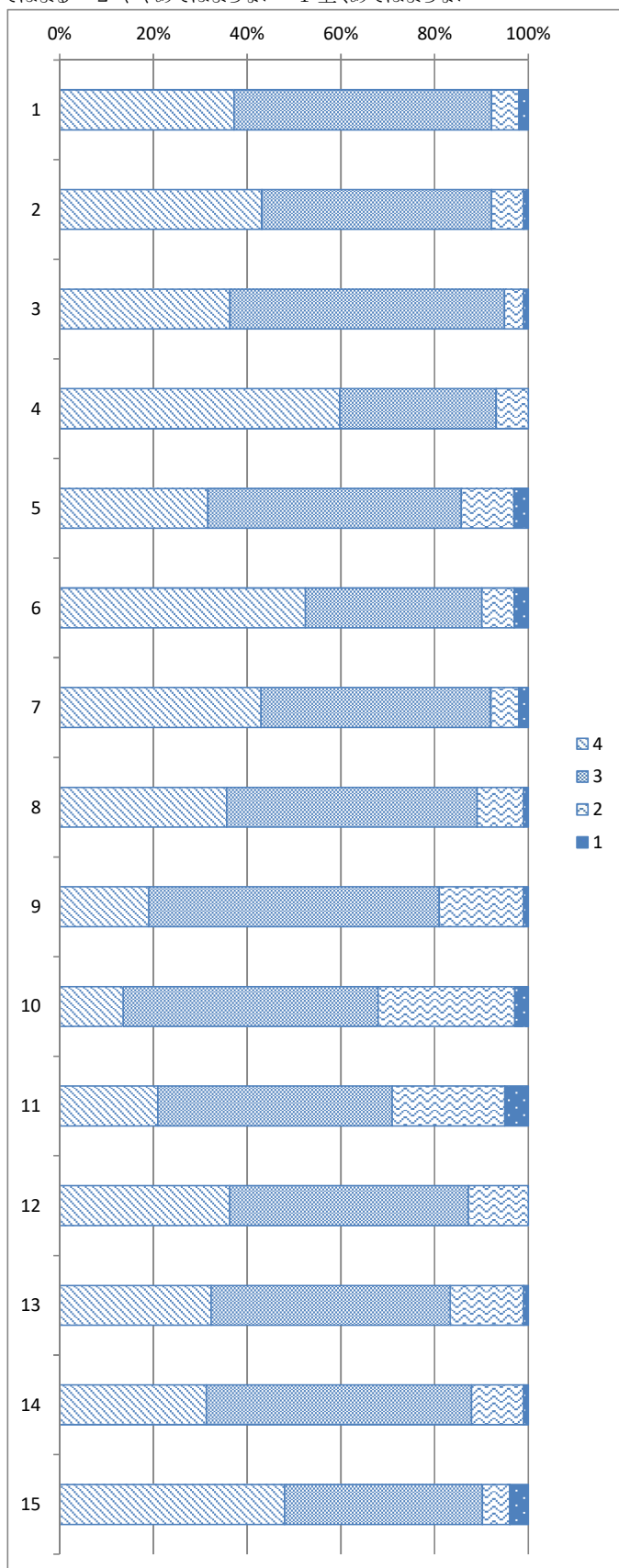
特進コースが創設され，学校の体制が変化してきたことや小規模校としての特色を生かした学校経営が，少しずつではあるが生徒たちの学校生活に対する気持ちや態度を変化させ，結果的に学校全体への評価を高めていると思われる。

令和2年度 学校評価(保護者)

(保護者用)

4 よくあてはまる 3 ややあてはまる 2 ややあてはまらない 1 全くあてはまらない

番号	項 目	4	3	2	1	平均
1	生徒は学級の雰囲気になじみ、楽しく過ごしている。	38	56	6	2	3.3
2	生徒は、基本的な生活習慣を守り、身だしなみや挨拶がしっかりできている。	44	50	7	1	3.3
3	学校は生徒指導において、人間形成に向けて適切に取り組んでいる。	36	58	4	1	3.3
4	生徒は、本校の学校行事に積極的に参加している。	61	34	7	0	3.5
5	学校は、部活動の指導に積極的で、生徒の活動がしやすいように環境を整えている。	31	53	11	3	3.1
6	学校は学級担任を中心に、教育相談等を行い、生徒の悩みや相談に親身になって応じている。	53	38	7	3	3.4
7	学校は、三者面談・PTA等で保護者の悩みや相談に適切に対応している。	43	49	6	2	3.3
8	学校はそれぞれの能力に応じて、成績を伸ばす工夫を行い、適切な学習指導を行っている。	36	54	10	1	3.2
9	本校の授業を通して、自分の考えを自分の言葉で表現する力が、生徒に育成されている。	19	62	18	1	3.0
10	生徒は、予習復習をしっかりとし、課題等にも確実に取り組んでいる。	14	56	30	3	2.8
11	生徒はボランティア活動に積極的である。	21	50	24	5	2.9
12	学校は、進路ガイダンス・講演会等進路を考える機会を計画的に設けている。	37	52	13	0	3.2
13	学校は進路決定のために、家庭訪問資料・学年会資料等で、情報提供や相談等を適切に行っている。	33	52	16	1	3.1
14	学校は、学習環境が整うように、施設設備面での整備に努めている。	31	56	11	1	3.2
15	生徒を串木野高校に入学させてよかったと感じる。	49	43	6	4	3.3



令和２年度 学校評価（最終）保護者アンケートの分析

アンケート全体集計（在籍１１２名 提出者１０２名 回収率９２．０％）

☆ 良かった点

- ・１番「生徒は学級の雰囲気になじみ、楽しく過ごしている。」は、一昨年３．１，昨年３．１，今年３．３と上がっている。
- ・３番「学校は生徒指導において、人間形成に向けて適切に取り組んでいる。」は、一昨年３．０，昨年３．１，今年３．３と上がっている。
- ・６番「学校は学級担任を中心にして、教育相談等を行い、生徒の悩みや相談に親身になって応じている。」は、一昨年３．０，昨年３．１，今年３．４と大きく上がっている。４（よくあてはまる）の割合が全体の５３％と高かった。
- ・７番「学校は、三者面談・ＰＴＡ等で保護者の悩みや相談に適切に対応している。」は、一昨年３．０，昨年３．１，今年３．３と大きく上がっている。
- ・８番「学校はそれぞれの能力に応じて、成績を伸ばす工夫を行い、適切な学習指導を行っている。」は、一昨年３．０，昨年３．０，今年３．２と上がっている。
- ・１４番「学校は、学習環境が整うように、施設設備面での整備に努めている。」は、一昨年２．８，昨年３．１，今年３．２と大きく上がっている。エアコン設置やＩＣＴ機器の設置等が高評価につながったと考えられる。
- ・１５番「生徒を串木野高校に入学させてよかったと感じる。」は、一昨年３．１，昨年３．２，今年３．３と上がっている。４（よくあてはまる）の割合が全体の４８％と高かった。

★ 改善を要する点

- ・１０番「生徒は、予習復習をしっかりとし、課題等にも確実に取り組んでいる。」は、一昨年２．９，昨年２．７，今年２．８と全体的に低い。主体的・協働的な学習がうたわれている中、生徒の予習・復習を徹底させるための取り組み、生徒の実態に合った課題の精選、適切な配布など、生徒の自宅学習の定着につなげていく対策が必要である。
- ・１１番「生徒はボランティア活動に積極的である。」は、一昨年３．０，昨年３．１，今年２．９と全体的に低い。コロナ禍でボランティア活動自体がなかったことが、原因とうかがえる。

※まとめ

・過年度との比較から、保護者の学校に対する評価が年々上がってきていることがわかる。不登校やいじめなど問題行動が起きた場合を含め、担任の先生を中心にした学校の対応が評価されているのではないかと。特に「生徒を串木野高校に入学させてよかったと感じる。」割合が、年々増加していることは、学校の雰囲気がよくなり、生徒が満足して学校生活を送っていることがうかがえる。

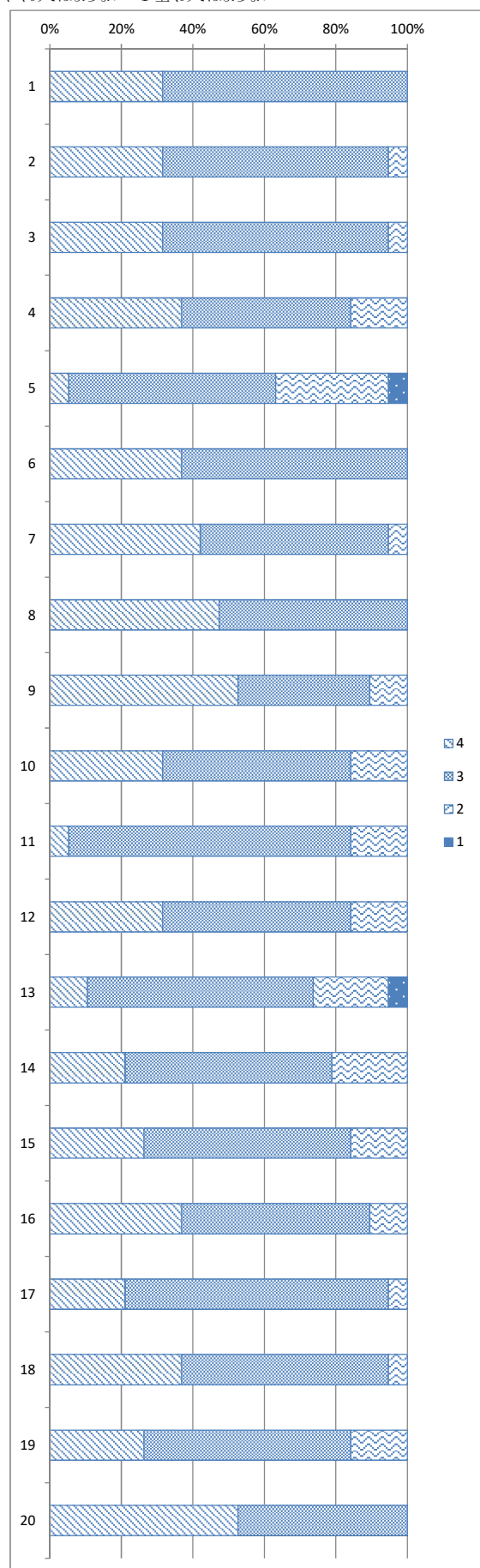
１５項目中１３項目において、４（よくあてはまる）３（ややあてはまる）を合わせた評価が８割を超えている。８割を下回ったのは、１０番「生徒は、予習復習をしっかりとし、課題等にも確実に取り組んでいる。」（６７％）と１１番「生徒はボランティア活動に積極的である。」（７０％）の２つだけであった。

特に１０番の評価を上げていくためにはどうすればよいのか、さらに知恵を絞って学校全体で取り組んでいかなければならない。

令和2年度学校評価(職員 最終)

4 よくあてはまる 3 ややあてはまる 2 ややあてはまらない 1 全くあてはまらない

番号	項 目	4	3	2	1	平均	中間 評価	比較
1	本校は、「良識ある市民、社会貢献できる市民」の育成を目指し、教育活動を行っている。	6	13	0	0	3.3	3.3	→
2	教育目標の具現化に向けた教育課程の編成や組織機構となっている。	6	12	1	0	3.3	3.0	↗
3	人権同和教育の視点に立った各種教育活動が実践されている。	6	12	1	0	3.3	3.2	↗
4	基本的な生活態度、挨拶、服装、マナー、携帯電話の使用などの指導について、全職員で取り組んでいる。	7	9	3	0	3.2	3.3	↘
5	部活動が活発に行われ、生徒は日常の活動に満足している。	1	11	6	1	2.6	2.6	→
6	いじめのない雰囲気や生徒が先生に気軽に相談できる環境づくりを心がけている。	7	12	0	0	3.4	3.3	↗
7	生徒の抱える様々な問題に迅速に対応し、学年部は共通認識をもって、個々の学級の問題に全体で取り組んでいる。	8	10	1	0	3.4	3.3	↗
8	生徒の健康・体力づくりへ配慮した取組が行われている。	9	10	0	0	3.5	3.4	↗
9	教師の専門性や力量を高めるための研究授業が行われている。	10	7	2	0	3.4	3.3	↗
10	各教科内で適切に年間計画・目標を設定し、連携して基礎基本の確実な定着を図るとともに、思考力・判断力・表現力の育成に効果的な授業を工夫している。	6	10	3	0	3.2	3.2	→
11	学習評価を指導改善に活かす取組がなされている。	1	15	3	0	2.9	2.9	→
12	積極的に生徒参加型授業を採り入れ、生徒が自分の考えを自分の言葉で表現し、伝える活動を工夫している。	6	10	3	0	3.2	3.2	→
13	自宅学習状況を把握し、自宅学習の習慣をつけるための指導が工夫されている。	2	12	4	1	2.8	2.9	↘
14	ホームルーム活動は計画的に実施されている。	4	11	4	0	3.0	3.2	↘
15	生徒の学力向上や進路についての検討は適切になされている。	5	11	3	0	3.1	3.1	→
16	キャリア教育の視点に立った進路学習を計画的に進め、「探究」等を活用し主体的に進路選択できる力を養うとともに、学習意欲の向上を図っている。	7	10	2	0	3.3	3.1	↗
17	講演会や進路ガイダンス等は生徒の生き方や在り方を考える目的を果たしている。	4	14	1	0	3.2	3.3	↘
18	保護者の相談への対応や情報提供が適切に行われている。	7	11	1	0	3.3	3.2	↗
19	身の回りの整理整頓・文書管理がしっかりできている。	5	11	3	0	3.1	3.2	↘
20	生徒が安心・安全に学校生活を送れる環境の整備に取り組んでいる。	10	9	0	0	3.5	3.4	↗



令和２年度 学校評価（最終）職員アンケートの分析

☆良かった点

- ① ８番「生徒の健康・体力づくりへ配慮した取組が行われている。」２０番「生徒が安心・安全に学校生活を送れる環境の整備に取り組んでいる。」の平均値が中間報告の３．４から３．５へ０．１ポイント上がった。
- ② ６番「いじめのない雰囲気や生徒が先生に気軽に相談できる環境づくりを心がけている。」の平均値が中間報告の３．３から３．４へ０．１ポイント上がった。生徒の評価も上がっている。一昨年 ３．１，昨年３．３，今年３．４と学校の雰囲気がよくなっていると感じている職員が増えている。
- ③ ７番「生徒の抱える様々な問題に迅速に対応し，学年部は共通認識をもって，個々の学級の問題に全体で取り組んでいる。」９番「教師の専門性や力量を高めるための研究授業が行われている。」の平均値が中間報告の３．３から３．４へ０．１ポイント上がった。

★改善を要する点

- ① ５番「部活動が活発に行われ，生徒は日常の活動に満足している。」は，平均値が２．６と中間報告と変わらないが，他の項目の中で，相対的に一番低い。コロナによる県大会の中止や生徒減による加入者の減少が，部活動の衰退に影響している。
- ② １１番「学習評価を指導改善に活かす取組がなされている。」の平均値が中間報告の２．９から変わらないが，一昨年３．２，昨年３．１，今年２．９と年々下がってきている。
- ③ １２番「積極的に生徒参加型授業を採り入れ，生徒が自分の考えを自分の言葉で表現し，伝える活動を工夫している。」の平均値が中間報告の３．２から変化ないが，一昨年３．４，昨年３．３，今年３．２と下がっている。この項目も生徒，保護者から評価されても，職員の意識はさらなる高みを目指しているのではないだろうか。
- ④ １３番「自宅学習状況を把握し，自宅学習の習慣をつけるための指導が工夫されている。」の平均値が中間報告の２．９から２．８へ０．１ポイント下がった。さらに，一昨年３．０，昨年２．９，今年２．８と下がっている。
- ⑤ １４番「ホームルーム活動は計画的に実施されている。」の平均値が 中間報告の３．２から３．０へ０．２ポイント下がった。さらに，一昨年３．２，昨年３．１，今年３．０と下がっている。特に今年度は，文化祭などコロナにより学校行事が中止または縮小された影響が出ているように思われる。